



たてやま議会だより

●平成22年11月号 ●No.91 ●発行/館山市議会 ●☎294-8601 館山市北条1145-1 ●電話 0470-22-3527
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



ゆめ半島千葉国体 剣道競技



軟式野球競技

平成22年第3回臨時市議会（7月29日開催）
平成22年度一般会計補正予算など
2議案を議決

平成22年9月定例市議会

館山市議会議員定数条例の改正など14議案を議決
平成21年度一般会計及び特別会計
決算を認定

9月定例市議会は、8月31日から9月22日までの会期23日間にわたって開かれ、市長から提案された13議案、議会から提出された1議案が、いずれも原案どおり可決、認定されました。

9月定例会において、会議初日（8月31日）は、会期を23日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

9月2日及び3日は、11人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。

9月8日は、決算を除く各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

9月10日は、各会計決算に対する質疑を行い、決算審査特別委員会を設置、委員を選任し、

審査を付託しました。

最終日（9月22日）は、各委員会の委員長が委員会での審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。

続いて、追加議案の審議を行い、閉会しました。

主な内容

- ★議案の概要 2～3頁
- ★委員会審査 3～4頁
- ★一般質問 5～9頁
- ★議決結果 10頁

議案の概要

第3回臨時会に提案された議案を紹介します。

9月定例会に提案された主な議案を紹介します。

議案第48号 工事請負契約の締結について 水族館（海辺の広場）建設工事に係る制限付き一般競争入札の結果、白幡興業株式会社が2億8770万円で落札したので、同社と工事請負契約を締結しようとするもの。

議案第50号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について 県内の市町村の状況を勘案し、軽自動車税の納期を4月から5月に変更しようとするもの。

議案第49号 平成22年度館山市一般会計補正予算（第3号）
 歳入歳出それぞれ510万4千円を追加し、総額160億9637万8千円としようとするもの。

議案第51号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 国民健康保険税の暫定賦課を廃止するとともに、介護保険料等の納期と統一するため、普通徴収に係る国民健康保険税の納期を変更しようとするもの。

子宮頸がん発症のリスクが高いウイルスに対するワクチン接種を実施し、子宮頸がんの予防を図ろうとするもの。このワクチンの接種により、60から70パーセントの子宮頸がんを予防できる。10歳以上の女性に3回接種することにより、十分な抗体が得られる。

議案第52号 館山市ふるさと創生人材育成基金条例を廃止する条例の制定について 青少年海外派遣事業等を実施するために創設したこの基金は、所期の目的を達成したので廃止しようとするもの。

議案第53号 館山市看護師等修学資金貸付基金条例の制定について 館山市看護師等修学資金貸付条例の貸付に関する事務を円滑かつ効率的に行うため、基金を設置しようとするもの。

議案第54号 館山市乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について 支給対象者を小学校3年生まで拡大するとともに、保護者の所得制限、自己負担金及び医療費の請求期間を県の補助制度と同じ内容に改正しようとするもの。

議案第55号 館山市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について 医療費の請求期間を県の補助制度と同じ内容に改正しようとするもの。

議案第56号 館山市看護師等修学資金貸付条例の制定について 将来安房郡市内において看護師又は准看護師の業務に従事しようとする者に対し、修学資金を貸し付けることにより、その修学を容易にし、もって市内における看護師等の確保を図ろうとするもの。

議案第57号 館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 介護保険料の暫定賦課を廃止するとともに、国民健康保険税等の納期と統一するため、普通徴収に係る介護保険料の納期を変更しようとするもの。

議案第58号 平成22年度館山市一般会計補正予算（第4号）
 歳入歳出それぞれ3億3563万円を追加し、総額164億3200万8千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、陶芸窯購入事業、地域子育て創生事業、保育園施設整備助成事業、後期高齢者医療特別会計事務費繰出金、館山市看護師等修学資金貸付基金繰出金、新型インフルエンザワクチン接種助成事業、三芳水道企業団出資金、ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業、戸別所得補償制度導入推進事業、地域活性化交流促進施設整備事業、館山市観光プロモーション活動推進事業資金貸付金、観光振興基金積立金、下水道事業特別会計繰出金、庁舎建設基金返還金積立金の増額など。

議案第59号 平成22年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ52万8千円を減額し、総額1041万1千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、一般会計繰出金を減額など。

議案第60号 平成22年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ1282万4千円を増額し、総額7億808万4千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、後期高齢者医療広域連合納付金を増額など。

議案第61号 平成22年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ4752万3千円を増額し、総額39億7439万6千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、過年度分介護給付費支払基金交付金返還金、過年度分介護予防事業交付金返還金、過年度分包括的支援事業等交付金返還金、過年度分地域支援事業支援交付金返還金、一般会計繰出金の増額など。

議案第62号 平成22年度館山市下水道事業特別会計補正予算

(第1号) Ⅱ歳入歳出それぞれ1450万3千円を増額し、総額9億3607万3千円としようとするもの。

歳出の主なものとして、受益者負担金システム導入事業の増額など。

認定第1号ないし認定第7号

平成21年度館山市一般会計ほか6特別会計決算の認定についてⅡ各会計決算について、地方自治法の規定に基づき監査委員の意見を付して議会の認定にするもの。

【議会提案議案】

発議案第6号 館山市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ現在の議員定数20人を2人削減し、18人としようとするもの。

委員会の審査

各定例会における審査について、主なものをお知らせします。

総務委員会

議案5件、陳情2件について審査を行いました。

議案第50号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について

市民に対するPRはどのようなものか聞いたところ、基本的に市の広報や納付書の送付時に周知を図るが、納付書の発送までの半年間であらゆる機会を捉え適切な周知を図りたいとの説明がありました。

議案第51号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険税の納期を6期から8期に変更する理由とメリットについて聞いたところ、暫定賦課の廃止と介護保険料や後期高齢者医療保険料と納期を統一することのメリットは、県内の多くの市で採用している納期となるので、他市町村から転入しても戸惑うことが少なくなり、市民にとっても、他の保険料と同一納期となり、理解しやすいとの説明がありました。

議案第52号 館山市ふるさと創生人材育成基金条例を廃止する条例の制定について

所期の目的を達成したとの判断理由を聞いたところ、経済状況の変化による応募者の減少や、海外に出ることが一般化されてきているためとの説明がありました。

議案第53号 館山市看護師等

修学資金貸付基金条例の制定について

修学終了時までの1名あたりの金額と、何名見込んでいるか聞いたところ、4年制の大学への進学で考えており、1名あたり144万円、館山市の過去3年間の平均進学者9名の8割、7名が利用すると見込んでいるとの説明がありました。

議案第58号 平成22年度館山市一般会計補正予算(第4号)

戸別所得補償モデル対策の市内の対象者の数と申請状況はどうか聞いたところ、対象と思われる農家は1052戸で申請件数は426戸であるとの説明がありました。

また、どの程度の補償金が交付されるのか聞いたところ、所得補償として国から市内の申請

農家に対し、約2900万円が交付される見込であるとの説明がありました。

文教民生委員会

議案7件、陳情4件について審査を行いました。

議案第54号 館山市乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について

負担金額が200円から300円に増えた解釈でよいか聞いたところ、そのとおりであり、県は平成20年12月に200円から300円に上げたが、館山市は今まで2年間据え置いていた。今回、対象を小学校3年生まで改めることに伴い、自己負担を県並みの300円にしたとの説明がありました。

議案第56号 館山市看護師等修学資金貸付条例の制定について

看護系の学校での年間の授業料を聞いたところ、千葉県立保健医療大学を例とすると、入学金と授業料を合わせて4年間で242万5千円程であり、月平

均5万円である。この修学資金3万円と従来からの館山市ふるさと創生奨学資金貸付金2万円を合わせて、県立大学をまかなえると考えているとの説明がありました。

議案第59号 平成22年度館山市老人保健特別会計補正予算(第1号)

過年度医療費の精算が確定する時期を聞いたところ、平成21年度は前年度の月遅れの請求や、受けた診療のレセプトの過誤調整があるので、平成21年度中に確定したものであるとの説明がありました。

建設経済委員会

議案1件について審査を行いました。

議案第62号 平成22年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳出において、職員を8名から9名に増員したことによる給与の補正が出ているが、どんな職種の職員で、なぜ今の段階での増員なのか聞いたところ、課

長級職員1名の増員であり、平成22年度の組織見直しにあたり、今まで下水道業務を都市計画課で実施していたが、下水道課として業務を実施することとし、併せて事務分掌の見直しを行い、従来、環境課で行っていた排水処理施設、合併処理浄化槽の業務について下水道課で行うこととしたため1名の増とし下水道

決算審査特別委員会

スで対応し、地図については下水道のエリアで大きく変わることはないので、長期間使用できると考えているとの説明がありました。

平成21年度一般会計及び特別

会計の審査に当たり、9人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。

委員は次のとおりです。

（○委員長、○副委員長）

◎三上 英男 ○今井 義明

本多 成年 鈴木 正一

真田 司郎 秋山 貴

福岡 信治 小沼 晃

小幡 一宏

主な質疑は次のとおりです。

一般会計歳出では、総務費の市民センターホール棟解体工事請負費に関して、平らにした土地を市で有料で貸し出すことは可能かと聞いたところ、近隣にも多数民間駐車場があるので、有料開放は民業を圧迫するといふ問題があるとの説明がありました。

民生費の元気な広場運営委託

料に関して、1年間経過しての利用者数と1500万円での契約内容を精査し来年度にどうかすのかと聞いたところ、利用者は2万人を超えている。依頼している業務内容に変更があれば、契約変更することになるが、指定管理者と5年間の長期契約を結んでおり、基本的には同額で推移するとの説明がありました。

衛生費の生ごみ処理機等購入費補助金に関して、補助金の決算状況について聞いたところ、予算執行率は約43%であり、ごみ減量化の観点から、もう少し希望者が増えて欲しかったが、平成12年度以降、約700台と多くの市民に利用していただいて、所期の目的は達成されたと考えているとの説明がありました。

労働費のふるさと雇用再生特別基金事業費中の委託料に関して、成果と状況を聞いたところ、平成21年度の新規雇用者は7名であり、平成21年度から23年度までの3年契約であるとの説明がありました。

農林水産業費の西岬沖漁場整備工事請負費に関して、国県市の支出割合を聞いたところ、国から3分の2、県と市が6分の

1ずつであり、館山市は784万7千円支出しているとの説明がありました。

商工費の海岸ごみ回収委託料に関して、海岸のごみステーションが環境課と商工観光課に分かれているので一本化できないかと聞いたところ、行財政改革の観点からも現在協議中であり、今後も協議を重ねたいとの説明がありました。

土木費の交通処理検証・評価業務委託料に関して、業務内容を聞いたところ、都市計画道路の将来交通量や混雑度を指標として、今後予定している都市計画道路の廃止路線の資料としての説明がありました。

消防費の工事請負費に関して、翌年度繰越の内容を聞いたところ、平成21年度予定していた消防団の詰所の改築工事請負費であるとの説明がありました。

歳入の入湯税に関して、前年度に比べ、観光客入込状況で、宿泊客数が横ばいであるのに対して、入湯税が減額となった理由を聞いたところ、宿泊客の受け入れを中止した施設と改修のため1か月間客の受け入れをしなかった施設があったため、それ以外の施設では前年度比で5%ほど増加している、との説

明がありました。

国民健康保険特別会計で、短期人間ドック補助金に関して、受診者数と補助金額を聞いたところ、243件の受診があり、平成21年4月からは1人5万円の補助である、との説明がありました。

議員定数等調査特別委員会

議員定数等調査特別委員会では、約半年間に渡り、慎重に審査を行いました。

他市等の状況や館山まちづくり座談会での市民の意見を参考に意見交換し、「民意の反映の場として、削減には反対」、「職員削減なども考慮し、議員定数削減はやむをえない」、「市民感情を意識して検討しなくてはいけない」などの意見が出され、各党派での検討結果が報告され、18人、20人などの意見が出されました。各委員から最終的な意見を聞いた後、採決を行い、定数を20人から18人について、賛成多数で可決され、常任委員会の構成については、今後も引き続き検討することとしました。

一般質問

市政に関する一般質問は、9月2日及び3日の2日間にわたり、次の11名の議員が行ないました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。

一般質問通告要旨

	今井 義 明 ①イノシシの捕獲対策について ②館山工業団地用地について ③船形バイパスの整備促進について ④安房郡市消防本部・館山消防署合同庁舎建設について ⑤歴史財産である里見氏を活かした経済活性化について ⑥多目的観光栈橋の愛称、ポンツーンについて
	鈴木 正 一 ①館山まちづくり座談会について ②農業振興について ③地上デジタル放送について ④市有地の活用について
	榎 本 祐 三 金丸市政の実績と今後の抱負について ①観光振興に関して ②雇用の促進に関して ③医療の充実に関して ④財政の健全化に関して
	内 藤 欽 次 ①学校再編について ②在宅老人の安全について ③子供の医療費助成制度を小学6年生まで無料とする、制度拡大について
	本 多 成 年 ①館山消防署移転について ②千葉国体に向けた啓発活動について ③人事院勧告に関連し市の対応について ④金丸市長の再選への決意表明について
	吉 田 正 二 ①高齢者の所在不明者への対応と高齢者等の熱中症対策に関して ②有害鳥獣に対する今後の対策や遊休農地の施策に関して ③道路整備の基本的な考え方と道路補修の計画に関して
	石 井 信 重 ①市職員に対するメンタルヘルス対策について ②有害鳥獣対策（イノシシ）について ③安心安全のまちづくり、防災対策等について ④フィルムコミッション事業について
	真 田 司 郎 ①地上デジタル放送の無感地域解消について ②防災に芝生の活用について ③救急車の適正配置について ④小中学校の耐震化の促進について ⑤「子ども手当て」の支給に伴う疑義について ⑥高齢者医療制度の変更について ⑦HPVワクチン以外のワクチン助成について
	鈴木 順 子 ①学校施設の耐震状況について ②開所予定となっている特別養護老人ホームの進捗状況について ③道路維持補修工事の予算について ④核兵器廃絶の観点から館山市の「平和都市宣言」を「非核平和都市宣言」とすることについて
	山 口 安 雄 ①里まち連携事業について ②一次産業の活性化対策について ③館山市における「少子化対策」への認識と今後の急務と考えている対策について
	秋 山 貴 ①スポーツイベントによる経済活性化について ②自治体クラウドについて ③学校耐震化について ④構造改革特区制度を利用したPM（パーソナルモビリティ）の実証実験について

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、12月上旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

主な質問と答弁

保健・医療

- 医療の充実
- 高齢者の在宅支援
- 高齢者の所在確認、熱中症対策
- 看護学校の誘致
- 特別養護老人ホーム

問 金丸市政として医療の充実に取り組んできた実績と今後の抱負について伺います。

答 医療の分野で特に力を入れてきたのは、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、女子中学生を対象とした子宮頸がんワクチン接種、女性特有のがん検診の実施や健康に関する知識を高めてもらうためのヘルスサポーター事業の実施など、病気になるための健康づくりや早期発見のための予防医療です。また、安房医師会病院の医師、看護師不足等による経営悪化に対し、中核病院を存続させるため安房地域医療センターへ経営委譲し地域医療の確保に全力を尽くしました。今後の医療の充実に向けては、看護師等修学資金貸付条例の運用による、看護師確保対策

や安房地域医療センターが予定している救急棟増築計画に財政支援を行う予定など医療の充実を図って行きたいと考えています。

問 在宅老人の安全について市の対策はどのようなものか伺います。

答 市では、配食サービスによる食事の支援と安否確認、緊急時の対応策としての緊急通報装置の貸与などを行っており、社会福祉協議会では、高齢者テレフォンサービスなどの各種在宅サービスを実施しています。そのほか、地域包括支援センターや民生委員、社会福祉協議会の各支部の地域福祉委員や地域ボランティアなどによる見守り活動により、高齢者が安心した在宅生活を送れるように支援しています。

問 高齢者の所在不明者への対応と高齢者等の熱中症対策に関して伺います。

答 高齢者の所在確認については、8月1日現在で市内の百歳以上の高齢者は27名いま

した。市職員や民生委員による訪問、各入所施設や病院への照会、居宅介護支援事業所のケアマネジャーなどにより本人確認を行い、すべての方の所在を確認しました。熱中症対策については、

広く市民に注意喚起をするため、チラシを作成し8月1日付けの回覧で周知しました。また、市内介護保険事業所に高齢者の熱中症への対応について要請を行うとともに、各地区公民館で行われる介護予防教室での注意喚起、配食サービス利用者である虚弱な高齢者や老人クラブ連合会、民生委員に対し熱中症予防のためのチラシの配布などを行い、高齢者等の熱中症対策を講じました。

問 看護学校の誘致について伺います。

答 看護学校の誘致につきましては、県立看護学校を旧安房南高校跡地に要望してきたところです。今後の看護学校に関する状況は、学校法人鉄蕉館が現在ある専門学校を維持したまま、平成24年4月の看護大学の開校に向けて準備を進めているところです。市といたしましても、看護大学設置に対する財政的支援について、他の市町村と連名で、

国・県に要望書を提出しています。

問 開所予定となっている特別養護老人ホームの進捗状況について伺います。

答 広瀬地区に建設計画が進められているもので、事業主は社会福祉法人白寿会、施設の規模は病床数80床、付属施設としてショートステイ10床、デイサービス30名、平成24年度初めの開設を予定しています。また、建設予定地の広瀬・腰越地区への説明会を開催し、両区長より同意が得られており、土地所有者との合意も得られ、現在、大規模開発事業の許可を待っている状況であるとの報告を受けています。なお、千葉県に対しても、事業計画の説明を済ませています。

教育・スポーツイベント

- 学校再編
- 小中学校の耐震化
- 若潮マラソン大会

問 学校再編の住民理解が得られない場合、中止すべきと思

うがいかがですか。また、地元住民との話し合いについて伺います。

答 現段階では、館山市学校再編基本方針の策定経緯や将来の方向性について説明しているところ。学校は地域の中核的な役割をもち、地域コミュニティの中心であるという意識が市民の皆様の中にあることは十分認識しており、協議が難航することも想定されますが、時間をかけ真摯に丁寧な説明を行い、理解を得ながら進めていくことが重要であると考えています。したがって、現時点において中止を前提とした考えは持ち合わせていません。また、説明会で出された意見ですが、指針作成の経緯や将来の方向性については、おおむね御理解をいただけた地域もありましたが、「少人数の学校を残してほしい」「地域から学校がなくなると過疎化に拍車がかかる」などの意見も出されています。今後は、このような意見を真摯に受け止め、「子どもたちの教育にとって最善の学校環境の構築」という視点に軸を置き、地域の皆様と共に将来の方向性について、話し合いを進めていきたいと考えています。

問 小中学校の耐震化改修工事の構造耐震指標基準値と耐震化完了年度について伺います。

答 耐震化改修工事の基準となる指標は、構造耐震指標の「IS値」を使用しています。このIS値が0.3未満であると、震度6強以上の大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い施設となり、0.3以上0.6未満であると、大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある施設となります。なお、学校施設については、児童生徒の安全性などを特に考慮し、0.7未満の耐震化に取り組んでいます。また、耐震化完了年度ですが、昨年度でIS値0.3未満の施設の耐震化が完了しましたので、0.3以上0.7未満の施設の耐震化を平成29年度までに完了したいと考えています。

問 学校施設の耐震状況は避難場所として大丈夫か伺います。

答 学校施設の19箇所を避難所として指定しており、耐震調査の必要のある昭和56年以前に建てられた12施設については、耐震調査を実施し、その結果6施設について耐震性が基準未満のため補強が必要との結果が出

ており、計画的な改修を進めています。避難所は、災害の直前・直後において、住民の生命及び身体の安全を確保する避難施設として、さらにその後は生活する施設として重要な役割を果たしています。耐震性の低い避難所については耐震基準を早期にクリアするよう働きかけていくとともに、適宜、避難所の見直しを行い対応したいと考えています。



若潮マラソン大会

問 若潮マラソン大会による費用対効果と今後、開催されるスポーツイベント・誘致予定イベントについて伺います。

答 第30回大会の収入額は、2728万円、支出額は、2435万円で、収支の差は293万円のプラスとなり、大会史上初めて収入のみで大会運営ができました。また、大会参加者の増加に伴い、宿泊施設の利用も増え、アンケート調査では前

回大会の倍以上の1227人の宿泊者数で、1千万円程度の経済効果がありました。さらに、同伴者を加えた宿泊も多く、飲食や土産物の購入などと併せて経済波及効果、館山市のPR効果も大きいものと考えています。今後、開催されるスポーツイベント及び誘致予定のイベントは、10月にプロのビーチバレーボール大会が初開催されます。来年度以降についても、館山若潮マラソン大会をはじめとする全国規模のスポーツイベントの開催や各種スポーツ合宿の誘致活動を引き続き行い、生涯スポーツの振興と併せて、観光施策とタイアップしたスポーツ観光の視点で地域の活性化を図っていきます。

観光・雇用・経済対策

- 館山工業団地用地
- 大河ドラマによる経済活性化
- 雇用の促進

問 館山工業団地の今後の用地利活用について伺います。

答 8月上旬に千葉県企業庁が千葉県行政改革推進委員

会に示した「企業庁新経営戦略プラン・改訂版」において、今後、館山工業団地については企業庁として整備は行わないことと、平成25年度より企業庁業務が清算会計に移行することが明記されています。工業団地用地の館山市への譲渡の可能性については、現時点ではまだ不明確なところですが、同プランにおいて「地元市の主体的な取組の動向や県施策を踏まえつつ、今後の取扱いを地元市・県関係部局と早期に協議し確定する。」とされていることから、県の関係部局と協議しながら用地の利活用方法について検討していきたいと考えています。

問 歴史財産である里見氏を活かしたNHK大河ドラマ上映実現に向けた経済活性化について伺います。

答 NHK大河ドラマをめぐっては、全国各地の市民団体が誘致運動を行っており、放送後には、フィルムツーリズムによる大きな経済効果がその地域にもたらされています。市としては、これまでに戦国武将里見氏の知名度向上のため、「南総里見まつり」の開催や、手作り甲冑サークルによる「手作り甲冑教室」、

館山銀座商店街振興組合の主催による「全国手作り甲冑サミット」、鳥取県倉吉市との「甲冑を活用した交流事業」等、様々なイベントや活動を行ってきました。今後の取組としては、先ごろ組織された「里見氏大河ドラマ実行委員会」など、市民団体等との連携を図りながら、大河ドラマ誘致の実現に向けて努力するとともに、引き続き映画やドラマ等の誘致にも努めていきたいと考えています。

問 雇用の促進施策と今後の抱負について伺います。

答 昨年1月、国の雇用対策事業に先駆け、館山市が臨時的に失業者を雇用することにより、10名の雇用を創出しました。また、国の雇用対策事業として実施している「ふるさと雇用再生事業」により、これまでに9事業19名、また、「緊急雇用創出事業」では、34事業144名の雇用の創出、もしくは雇用の予定をしています。今後の抱負としては、短期的にはこれらの事業の推進により、失業者を中心とした雇用のさらなる拡大を図るとともに、千葉県雇用労働課と連携し、特に再就職が厳しいといわれる中高年層を対象とした再就職セ

ミナーを開催し、再就職に必要な情報の提供等を行う予定です。また中期的には、裾野が広いといわれている観光産業の振興を図るとともに、企業誘致条例の制定等、企業が進出しやすい環境の整備により企業誘致を推進し、雇用の場の拡大を図ります。さらに、地域住民が地域の課題をビジネス的手法を用いて解決するコミュニティビジネスや、近年、整備が進められているプロドバンド環境を活用したS O H O（ソーホー）の起業支援等も検討していきます。

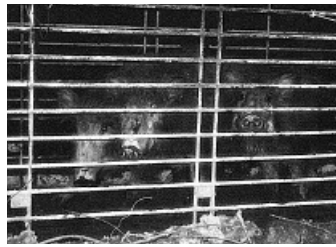
農林水産業

- 有害鳥獣対策
- 里まち連携事業
- 一次産業の活性化対策

問 有害鳥獣対策協議会に対する補助金制度と、協議会の事務に行政がより積極的に取り組むべきと考えるがどうか伺います。

答 市では、館山市有害鳥獣対策協議会に対し、イノシシの捕獲にかかる費用として、年間

40万円の支給を実施してきました。しかしながら、イノシシによる被害や生息数は、増加傾向にあるため、来年度からは捕獲頭数に比例する報奨金制度を導入し捕獲事業を強化する予定です。また、現在鳥獣対策は、安房農業協同組合が主体となり実施してきましたが、事業を強化する必要性から、来年度からは市が主体となって鳥獣対策事業を実施していく予定です。



捕獲されたイノシシ

問 里まち連携事業の進捗状況と今後の計画について伺います。

答 平成21年度については、東京都内での体験型観光推進事業の一環としての連携事業や、中野の各商店街との連携事業など、都市間住民と館山の交流事業を展開してきたところです。このような取組により、館山市の都市部におけ

る知名度向上が図られ、また、1年を通して農産物や海産物など、館山の様々な産品が定期的に提供でき、館山の魅力が伝えることができたこと認識しています。また、体験型観光の分野においても、海辺の体験や農業体験などを活用したいいわゆる着地型ツアーも実施されるなど、観光振興としても成果が上がっていると考えています。今後の計画については、都市部におけるプロモーション拠点を構築する上で、様々な可能性を探りながら、情報発信の機能や農水産品などの流通機能の強化を図っていきます。また、中野区との交流については、先方の意向もあり、体験型観光の分野における交流を中心に連携を強化し、農海産物等の第一次産品の交流については、昨年度の成果を発展させる意味でも民間を中心に事業を展開する方向で調整しています。

問 農・林業の担い手対策は市としてどのような効果があるか、また、六次産業としての取り組み方について伺います。

答 担い手対策の主なものとして、農業関係機関で組織する

館山市担い手育成総合支援協議会を設置し、農業者からの問い合わせ総合窓口を農水産課に設置するとともに、より専門的な知識を持つもので構成されるアクションサポーターチームを編成し支援体制を整備しました。また、園芸振興に関する国・県などの各種補助事業の活用、農業近代化資金など農業制度資金に対する利子補給事業などにより、意欲ある農業者の規模拡大や生産性の向上への取組を支援しています。さらに、効率的かつ安定的な農業経営の指標を示し、年間農業所得が550万円以上となる認定農業者の確保、育成に努めています。これらの対策により、経営規模拡大などにおける財政支援や新規就農者も含めた地域農業の担い手の確保などに効果があるものと考えています。

昨年度は、花卉生産者など8人の農業者の方々が、新たに認定農業者となり地域農業の担い手として期待されています。また、農業の六次産業化の推進にあたっては、農家だけでなく、商工業に携わる方々の理解と協力が不可欠なことから、農商工連携を強化していくかなければなりません。したがって、まずは商工業者の皆様に地元農産物の魅力を知っていた

だくための情報発信や農家の皆様との交流機会を設けていきたいと考えています。そのためのモデル拠点として、公設卸売市場用地の活用を考えています。地域農水産業発展のために、一次産業の六次化、地産地消の推進、観光農漁業の拡充などを総合的に連携して進めていきたいと考えています。

道路整備

問 市道整備の基本的な考え方と今後の補修計画について伺います。

答 都市計画道路の整備については、交通需要の動向や市のまちづくりの方向性に、整備手法の検討も加えて、整備路線の優先度を決定しています。また、今後の舗装補修については、穴埋め等の部分的な補修を適時実施するとともに、損傷の著しい箇所については、交通量等を考慮し、優先度の高い路線から、舗装打ち換え等の全面的な補修を計画的に実施します。

行財政改革

問 平成21年度決算数値の

分析・認識について伺います。

答 市の財政の健全化を判断する4つの指標で館山市は黒字となっていますのでまったく心配ありません。21年度決算を総合的に判断すると、国の施策などによる新たな需要への対応が増加してきている中においては、普通交付税などの歳入の増加はあるものの、基金活用額の圧縮が図られており、粛々と実施してきた行財政改革の積み上げ効果が現れてきていると考えています。しかしながら、今後も厳しい財政状況が続くものと考えていますので、市民の皆様様の御理解と御協力を得ながら行財政改革を推進し、財政の健全化を実現していきます。

館山消防署移転

問 館山消防署の移転問題について伺います。

答 館山消防署の移転については、館山市を中心として館山市有地や民有地などを含め様々な視点で検討を行い、安房南高校跡地の一部を利用した施設整備が最善との結論に至り、協議の結果、千葉県より用地を提供する旨の回答

をいただきました。現在の状況ですが、用地については、千葉県から不動産鑑定を基に、金額の提示がありましたので、今後は、購入額について協議を行い取得を進めていく予定と聞いています。また、平成24年度までの救急消防無線のデジタル化に間に合わせる必要から、建物については、基本設計から実施設計に入り、総事業費等の積算を行い、来年度の着工を目指していると安房郡市広域市町村圏事務組合より伺っています。

メンタルヘルス

問 市職員のメンタルヘルス対策について伺います。

答 平成19年度から産業医や保健師など産業保健スタッフを配置し、さめ細やかなメンタルヘルス対策に取り組んできました。その結果、心を病む職員は減少傾向を示し、新たに発症している職員はいません。さらに、平成21年6月からは、個々の対応だけでなく、庁内に「明るい職場づくり検討会」を発足し、部長会、各職場の所属長とそれぞれが連携して「明るい職場づくり」

を目指し、職員の心を含めた健康管理に当たっています。

本市への視察訪問

8月18日 島根県江津市議会の議員が事業仕分けについて視察のため来館しました。

10月19日 埼玉県吉見町議会の議員が総合型地域スポーツクラブについて視察のため来館しました。

10月19日 岐阜県中津川市議会の議員が南房総地域観光圏整備計画について視察のため来館しました。

10月21日 愛知県半田市議会の議員が南房総地域観光圏について視察のため来館しました。

10月28日 愛媛県今治市議会の議員が観光立市たてやま行動計画と海まちフェスタについて視察のため来館しました。

会議録の検索・閲覧

9月定例会及び委員会の会議録は、12月上旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

また、「たてやま議会だより」は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

市議会を傍聴しませんか！

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所2階)前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。

(館山市のホームページでご覧になれます)

次の定例会の予定

開 会 日 : 12月10日(金)午前10時～
一 般 質 問 : 12月14日(火)、15日(水)
予 備 日 : 16日(木)
各 日 各 々 午前10時～
請 願 ・ 陳 情 提 出 締 切 :
12月3日(金)正午まで

◆編集後記◆

9月定例会では、決算審査特別委員会が設置され、活発な議論が行われました。

市財政は一段と厳しさを増すなか、市議会としても議員定数を18人にするなど議会改革に取り組んでいます。今後も市民の皆さんと市執行部と一丸となって経済活性化を図りつつ、行財政改革を断行し、健全財政を確保しなければなりません。

議会として、市政の情報を広く知ってもらい、読みやすく、議会の動きが良くわかる編集をしてまいりたいと思いますので、市議会に関する皆様様の御意見、御質問等をお待ちしています。

議会や議会だよりに関するご意見、御質問等は議会事務局まで電話又はメール(番号及びアドレスは表紙参照)でご連絡ください。

(福岡信治)

議会報編集委員会

(◎委員長 ○副委員長)

◎福岡 信治 ○鈴木 正一

三澤 智 早船 亮一

平成22年第3回臨時会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第48号	工事請負契約の締結について	原案可決 賛成多数
議案第49号	平成22年度館山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決 全会一致

平成22年9月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第50号	館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第51号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第52号	館山市ふるさと創生人材育成基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第53号	館山市看護師等修学資金貸付基金条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第54号	館山市乳幼児医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第55号	館山市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第56号	館山市看護師等修学資金貸付条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第57号	館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第58号	平成22年度館山市一般会計補正予算（第4号）	原案可決 全会一致
議案第59号	平成22年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第60号	平成22年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第61号	平成22年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
議案第62号	平成22年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 全会一致
認定第1号	平成21年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定 賛成多数
認定第2号	平成21年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第3号	平成21年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第4号	平成21年度館山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第5号	平成21年度館山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第6号	平成21年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
認定第7号	平成21年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定 全会一致
陳情第24号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書	了承できない (総務委員会)
陳情第25号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書	了承できない (文教民生委員会)
陳情第26号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	了承できない (文教民生委員会)
陳情第27号	人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書	了承できない (文教民生委員会)
陳情第28号	最低基準の改善と待機児解消・定員増実現のために公立保育所への特定財源の復活などを求める意見書の提出を求める陳情書	了承できない (文教民生委員会)
陳情第29号	住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充に関する陳情	了承できない (総務委員会)
発議案第6号	館山市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数